

企業の人才採用力を強化

昨年度「プロペル」に参加

現在の売り手市場の中では、企業が「求職者を選ぶ」のではなく、「求職者から選ばれる」存在となることが人材確保の鍵となっています。そこで、県では、県内企業が「選ばれる企業」となるための採用のブランドづくりを支援する事業「中小企業採用ブランド構築支援PROPEL(プロペル)」をスタートしました。

ロペル」をスタートしました。プロペル」をスタートしました。

採用のブランドづくりとは、企業が自社の魅力や考え方を社内外に発信し、求職者や社員から「この会社で働きたい」と感じてもらえるイメージを築くとともに、そのイメージと職場の実態とが一致した状態をつくる取組です。「プロペル」では、この取組を通して、県内企業と企業の思いに共感する人材との出会いを引き寄せ、同じ場所で長く活躍してもらえる土台をつくることをめざします。

「プロペル」でのブランドづくりの流れ

キックオフイベント
セミナーで採用プランディングの基礎や事例を学ぶ



詳しくは
[こちら](#)



ワークショップ
自社の採用活動の課題と対策を考えるワークに挑戦



実践プログラム
専門家の支援を受けながら自社ならではの採用のブランドづくりに取り組む



株式会社タカショーデジテック
マネージャー 伊佐 優子さん



単に採用者を増やすだけでなく、入社後に起こりがちな「イメージしていた仕事と違う」といったミスマッチも解消したくて「プロペル」に参加しました。以前の採用活動は自分たちで手探りで行っていたので、専門家の皆さんの協力を得られることや色々な立場の方との接点を持つことも参加の決め手でした。

「プロペル」では、採用のブランドづくりで重要な「求める人材」の整理をまず行い、その人たちへのアプローチ方法の検討や訴求できるPR文の作成など、ターゲットを定めた情報発信に注力してきました。今後は自分たちでこれらの活動を継続・発展させながら、人を呼び込み、定着につながる仕組みを築いていきたいです。

事業者・経営者の皆さんへ 築き上げてきた事業を 守るために

問 商工振興課 ☎073-441-2744 FAX073-422-1529

事業承継は「いつか」ではなく「今から」の準備が大切です

「事業承継はまだ早い」と思っていませんか？事業承継が上手いくかどうかは、「いつから準備を始めたか」に大きく左右されます。事業承継は後継者の育成等も含めて3年以上必要という声が多く、思っている以上に時間が必要です。「誰に・どんな形で引き継ぐか」、考え始めてみませんか。

国が設置する相談窓口の「和歌山県事業承継・引継ぎ支援センター」では、皆さんの事業承継をサポートしています。まずはお気軽にご相談ください。

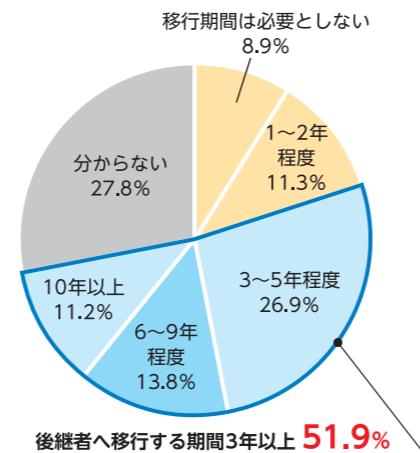
和歌山県事業承継・引継ぎ支援センター



☎073-499-5221 FAX073-499-5224

- ・事業承継のあらゆる相談に無料で対応
- ・毎月、県内6か所の商工会議所で無料の出張相談会を開催
- ・税理士、中小企業診断士等の専門家を紹介

事業承継する際の後継者への移行期間*



*「後継者を決めてから事業承継が完了する期間」を示し、後継者の育成期間などを含む

出典：(株)帝国データバンク「事業承継に関する企業の意識調査(2021年8月)」

「まさか」の出来事から事業を守れますか

自然災害、感染症、サイバー攻撃…発生の予測が困難なこれらの出来事が、いつか皆さんの事業を直撃するかもしれません。緊急事態に直面した際に対応できる力(事業継続力)を高めることが、事業や社員を守る鍵になります。

事業継続計画(BCP)を策定しましょう

BCPは、企業が災害等の緊急事態に直面した際でも事業の継続・早期復旧ができるよう、あらかじめ対応を取り決めておく計画で、事業継続力の強化に有効です。

スムーズな計画策定には、専門家からの具体的・実践的なアドバイスが効果的です。

商工会や商工会議所では、計画策定に向けた助言や支援に加え、専門家の紹介・派遣も行っています。まずは、最寄りの商工会・商工会議所にご相談ください。



▲
商工会・
商工会議所
一覧

一般的なBCP策定手順

- ① 何のためにBCPを策定するのか考える
- ② 優先的に製造・販売する商品やサービスを考える
- ③ 災害等によって会社が受けける影響のイメージを持つ
- ④ 緊急時を見据えた事前の対策を平時から検討・実施する
- ⑤ 緊急時の対応と、責任者を整理する

新入社員向けのコース

対象：入社15年目以内で新入社員の育成・指導をする社員

目的：メンターとしてのスキルを習得／人間関係や職場環境をコントロールする力を高める

※指導や助言を通して新入社員をサポートし、成長を促す役割を担う社員

詳しくは
[こちら](#)

近年の人手不足は、高い離職率がその一因となっており、特に若手社員の場合は、働く環境や職場の人間関係をきっかけとした離職が多くなっています。このような離職を減らし、定着につなげるための新たな研修事業を開始しました。

職場への定着を支援